

アイヌ政策の概要（平成31年度予算政府案）について

平成30年12月21日
内閣官房アイヌ総合政策室

（注1） [] の数字は、対前年度比を表示。

（注2） 予算額を特定できない施策の予算額は含まない。

平成31年度アイヌ政策関係予算額合計 6,719百万円 [1.66]

1. 「民族共生象徴空間」の具体化 4,947百万円 [1.52]

○中核区域（博物館・公園）の整備及び開業準備 4,885百万円 [1.52]
【文部科学省・国土交通省】
〔うち文部科学省 2,796百万円、国土交通省 2,089百万円〕

- ・国立アイヌ民族博物館の建設、展示工事費
- ・国立民族共生公園の整備
- ・開業準備のための経費

○アイヌの遺骨等の慰霊及び管理のための施設の整備 52百万円 [2.56]
【国土交通省】

- ・慰霊施設の整備

○大学が保管するアイヌ遺骨の返還に向けた手続き等に関する支援事業 10百万円 [0.78]
【文部科学省】

- ・大学が保管するアイヌ遺骨の返還に向けた手続き等に係る支援、調査研究、検討

○先端技術を活用した日本文化の魅力発信 2,060百万円の内数 [皆増]
【国土交通省（文部科学省）】

- ・新千歳空港国際線コンコース等を対象としたアイヌ装飾等を実施（国際観光旅客税）

○日本博を契機とした新たなコンテンツの創成 3,466百万円の内数 [皆増]
【国土交通省（文部科学省）】

- ・民族共生象徴空間等におけるアイヌ文化をテーマとしたインバウンド向けの観光コンテンツを創成（国際観光旅客税）

2. アイヌ政策推進交付金（仮称）の創設 1,000百万円 [皆増]

○アイヌ政策推進交付金（仮称）の創設 1,000百万円 [皆増]
【内閣府】

- ・先住民族であるアイヌの人々の誇りの源泉であるアイヌの伝統及びアイヌ文化が置かれている状況等に鑑み、アイヌの人々が民族としての誇りを持って生活することができる社会の実現を支援するため、地域振興、産業振興等を含めた交付金制度を創設

3. アイヌ文化の振興、普及啓発 335百万円 [0.96]

○アイヌ民族文化財団への補助等 315百万円 [0.96]
【文部科学省・国土交通省】
〔うち文部科学省 221百万円、国土交通省 94百万円〕

- ・アイヌ文化振興法に基づき、アイヌ文化の振興及びアイヌの伝統等に関する普及啓発を図るため、指定法人であるアイヌ民族文化財団に対し補助金を交付

- 危機的な状況にある言語・方言の活性化・調査研究 200百万円 [0.99]
【文部科学省】
・アイヌ語の保存・継承に必要なアーカイブ化事業

4. アイヌ生活向上等

416百万円 [0.98]

(1) 北海道内施策

アイヌの人々の社会的・経済的な地位の向上を図るため、北海道が実施するアイヌ生活向上関連施策の推進を支援。

- 修学の支援（高校生、大学生等に対する奨学金等） 77百万円 [1.04]
【文部科学省】

- 雇用・生活の安定（職業相談等の就職支援、生活館の運営等） 105百万円 [0.87]
【厚生労働省】

- 農林漁業の振興（経営近代化施設の整備等に対する補助） 221百万円 [1.02]
【農林水産省】

- 中小企業の産業振興（民工芸品展示会、研修会開催等に対する補助）
7百万円 [1.00]
【経済産業省】

- 生活環境の改善（住宅新築資金等の貸付事業に対する支援） 【国土交通省】

(2) 全国の見地からの施策

- 修学の支援（大学生等に対する奨学金） 【文部科学省】

- 生活の安定（生活相談） 6百万円 [1.40]
【厚生労働省】

5. その他

21百万円 [0.59]

- アイヌの人々の人権擁護の観点からの啓発 4百万円 [1.02]
【法務省】

・アイヌの人々に対する偏見や差別をなくすため、インターネットのバナー広告を活用し、アイヌの人々に対する国民理解を促進。

- アイヌ政策推進会議の開催等に係る経費 17百万円 [0.54]
【内閣官房】

・アイヌ政策推進会議の開催等により、総合的・効果的なアイヌ政策を推進。

- 北海道大学におけるアイヌ・先住民との文化的共生に関する総合的・実践的研究 【文部科学省】

・北海道大学において、アイヌ・先住民に関する総合的・実践的研究を実施。

- 標識等におけるアイヌ語地名や地名由来の表記促進 【環境省】
・国立公園内の標識等において、アイヌ語地名や地名由来の表記を促進